

特別展『もっと動きを：振付師としてのアーティスト』

2010年7月31日(土)-10月11日(月・祝)

展覧会という舞台、アーティストという振付師

「もっと動きを」展では、身体の「動き」と美術の密接で創造的な関係に注目します。パフォーマンスやダンス、演劇の要素を、絵画、写真、映像、インスタレーションなど、美術表現の形態と融合させる革新的な試みは、戦後美術の中で様々に行われてきました。例えばアクションペインティング、そして60-70年代には、ビデオというニューメディアの登場によって、パフォーマンスを映像に残し、より永続的な形態で作品化する手段を手にするできるようにもなりました。

近年、身体を表現手段にした歴史的な試みにインスピレーションを得て、パフォーマンスと美術のそれぞれの枠組みを横断し、その関係性を再解釈、静的と捉えられがちな美術が、アクティブで豊かな要素を加えて展開する動向が活発になっています。それはまるで振付師のように、アーティストが身体の「動き」という形なき要素を素材に、ユニークな美術作品を生み出していく、創造的、越境的試みといえます。

本展は、身体の「動き」を作品に取り入れたパイオニアから若手作家の試みまで、異なるジェネレーションのアーティストの活動を紹介します。展覧会という2ヶ月間継続して幕の開く舞台上で、またステージと客席の別れていない展示室という劇場で、アーティストたちは美術作品の形式や展覧会の慣例を問いかけながら、作品と場所、演者と鑑賞者との間にユニークな関わりを築いてゆきます。



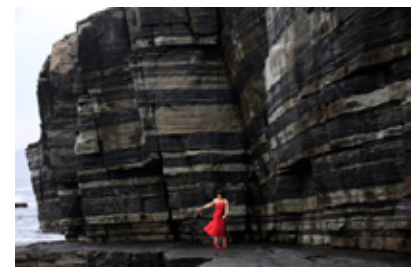
ジョーン・ジョナス《Reading Dante II》2009



今村哲《腹、減る》2008



ロビン・ロード《Untitled, Harvest》2005



澤登恭子《オルゴールドール
-くりかえしみる夢のはなし-》2010

【会期】 2010年7月31日(土)~10月11日(月・祝)

【会場】 広島市現代美術館

【開館時間】 午前10時-午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

【休館日】 月曜日(祝休日にあたる場合開館し、翌平日休館)

【観覧料】 一般1,000(800)円、大学生700(600)円、高校生500(400)円

※()内は前売りおよび30人以上の団体料金

【主催】 広島市現代美術館、中国新聞社

【後援】 広島県、広島市教育委員会、広島エフエム放送、尾道エフエム放送

参加作家

絵画と身体性

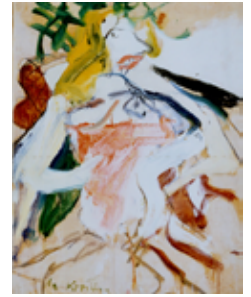
- **Willem De Kooning (ウィレム・デ・クーニング)** /1904年ロッテルダム生まれ、1997年没。
抽象と具象が融合した独特の画風で女性をモデルにしたシリーズを描き続けたアメリカ抽象表現主義の代表的作家。
- **Yves Klein (イヴ・クライン)** /1928年ニース生まれ、1962年没。
深い青色の染料と人体を使って制作された作品シリーズやパフォーマンスにより、人間のエネルギーといった目に見えないものを表現した。
- **Kazuo Shiraga (白髪一雄)** /1924年兵庫生まれ、2008年没。
前衛作家集団「具体」の活動の中で自らの足を用いて描くことを試み、独自の作品を制作した。
- **Atsuko Tanaka (田中敦子)** /1932年大阪府生まれ、2005年没。
円と線が絡み合う前衛的作風の抽象画を描き、「具体」の一員として活躍した時期も。戦後日本女性アーティストの草分け的存在。
- **Tetsu Imamura (今村哲)** /1961年ボストン生まれ、三重県在住。
身体のポーズで会話する、という架空の物語に基づいた作品を、絵画を中心に立体、テキストにも表現媒体を広げ制作する。

映像におけるパフォーマンスと身体

- **Bruce Nauman (ブルース・ナウマン)** /1941年アメリカ生まれ、ニューメキシコ在住。
彫刻、パフォーマンス、映像、インスタレーションなどメディアを横断する多様な作品を制作。身体性と映像を結びつけた創作を試みたパイオニアの一人。
- **Victor Alimpiiev (ヴィクトル・アリンピエフ)** /1973年モスクワ生まれ、モスクワ在住。
集団や群衆の中での個の役割や人間の関係性に関心を持ち、映像作品を制作する。
- **Robin Rhode (ロビン・ロード)** /1976年ケープタウン生まれ、ベルリン在住。
ストリートを舞台にグラフィティとパフォーマンスを融合させ、写真や映像作品を作り上げる。

身体という表現手段、舞台としての展示作品

- **Joan Jonas (ジョーン・ジョナス)** /1936年ニューヨーク生まれ、ニューヨーク在住。
60年代末から鏡、小道具、ドローイング、映像を組み合わせたパフォーマンスを屋内外で試みるなど、女性パフォーマーの先駆者。
- **Satoshi Hashimoto (橋本聡)** /1977年東京都生まれ、東京都在住。
作家自身が「仕掛け」の一部となり様々な形で空間や鑑賞者と関わる作品を制作。
- **Yeondoo Jung (ヤンドゥ・ジョン)** /1969年チンジュ生まれ、ソウル在住。
写真や映像を媒介に人々とコミュニケーションを築いていくプロセスを重視するプロジェクトを行い、夢の世界を現実の世界で再現する。
- **Kyoko Sawanobori (澤登恭子)** /1973年東京都生まれ、山口県在住。
パフォーマンスと映像、インスタレーションを組み合わせ、女性性を意識させる作品を制作。



ウィレム・デ・クーニング《風景の中の女VI》1968



イヴ・クライン《人体測定 170》1960



ヴィクトル・アリンピエフ
《Summer Lightnings》2004



橋本聡《投石》2009



ヤンドゥ・ジョン《Cinamagician》2009

広島市現代美術館 (学芸担当：神谷、角 広報担当：後藤、鈴木)

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1

TEL/ 082-264-1121(掲載用) ・ 082-264-1146(問い合わせ用 ・ 学芸直通)

FAX/ 082-264-1198

E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp

アーティスト・トークから韓流マジックショーまで 展覧会をもっと楽しむための関連イベント

アーティスト・トーク

参加作家が自身の作品や制作について語ります。
(橋本聡、今村哲、ヤンドゥ・ジョン、澤登恭子(予定))

7月31日(土)14:00-15:30

※要展覧会チケット、事前申し込み不要

韓流マジックショー!

韓国若手大人気マジシャン、ウンギョル・リーと参加作家
ヤンドゥ・ジョンが共演する夢のマジックショー。

8月7日(土)17:30-

参加料:500円(小中高生無料)

※ワンドリンク付き、事前申し込み不要

一週間パフォーマンス by 橋本聡

美術館のどこかでアーティストが一週間連続パフォーマンス
を行っています。

8月1日(日)、3日(火)~8日(日)10:00-17:00

※要展覧会チケット、事前申し込み不要

澤登恭子 ライブ「Honey, Beauty and Tasty」

ターンテーブルを使用し、パフォーマンスを交えたライブ
を行います。

8月28日(土)14:00-14:30

※要展覧会チケット、事前申し込み不要

ギャラリー・トーク

学芸員が展覧会について解説します。

8月8日(日)、10月9日(土)14:00-15:00

※要展覧会チケット、事前申し込み不要

【同時開催】

- コレクション展 2010 - II
「メモリー／メモリアル 65年目の夏に」
2010年7月19日(月・祝)~11月7日(日)
- 夏のワークショップ・プロジェクト 2010「ふしぎの森の美術館」
2010年7月3日(土)~9月5日(日)
- ゲンビどこでも企画公募展
2010年9月18日(土)~10月11日(月・祝)

【同時開催】

- 岡本太郎《明日の神話》原画特別展示
2010年7月31日(土)~9月5日(日)

【次回開催】

- 森村泰昌：なにものかへのレクイエムー戦場の頂上の芸術
2010年10月23日(土)~2011年1月10日(月・祝)